

宮崎まちづくり活動団体情報

Vol. 22



夏の町内一斉クリーン運動 ガードレールの清掃を実施しました

【石原町自治会】（学区内の活動を紹介）

町内のガードレールの清掃を実施しました（自治会長 梅村順一）

○夏の町内一斉クリーン運動作業

令和6年6月9日（日）、石原町民によるガードレールの清掃作業が行われました。夏の町内一斉清掃において石原町では、長年掃除が行われず真っ黒になったガードレールを掃除することになりました。今年の共通テーマとして「町内のガードレールを掃除しよう」を、役員会の中で掲げました。町内には7つの組があります。各組の事情に合わせて、出来る範囲でガードレールの掃除をするものです。当日は、水のタンクを準備して雑巾とバケツで拭いていきます。中には動力の洗浄機を使用したりデッキブラシでこする様子も見られました。自分が住む町内は、自分たちできれいにしていこうとする町民の方々の思いにご協力に、敬意と感謝をしたいと思います。



【台風10号の災害報告】

淡路付近で倒木被害発生

令和6年8月30日（金）午前5時40分、宮崎学区から淡路町へ向かう県道岡崎作手清岳線において、倒木があるとの通報がありました。警察から県土木に連絡し、所管する業者により無事撤去されました。速度の遅い台風10号の被害が心配されます。皆さんも十分な備えをしてお過ごしください。





【宮崎まちづくり協議会お助け隊】

令和6年度 第1回目のマイタウンマイロード事業

○総代会とまちづくり協議会の協同事業です



令和6年7月7日（日）、新たなメンバーをお迎えして本年度も県道の草刈りを実施することができました。県道千万町豊川線の通行止めにつき、県道大代音羽線も長らく通行止めでした。しかしこの間に県道沿いの支障木の伐採をしてくれていました。特に菟坂は明るくなり往來の視距が大きく改良されました。私たちの草刈り事業が、担当課に届いていると思われる伐採事業でした。皆様のご協力に感謝します。



【宮崎まちづくり協議会お助け隊】

竹プロジェクト事業の取材（会長 荻野昌彦さん）

○おかざき映像教材研究会の撮影



令和6年7月28日（日）、岡崎市の若手教職員による、「おかざき映像教材研究会」の取材がありました。中学生を対象とした映像教材のビデオ撮影を行うとのことでした。これまで『オクオカ竹資源活用協議会』の取材を重ねていました。「竹千代パーク」や竹炭の有効活用、筍の水煮である「かぐや姫」、新たなメンマづくりなど注目すべき話題は豊富にあります。地域資源の有効活用や、循環型社会の活動として竹資源活用事業を映像にまとめ、中学生に考察を促す教材を製作します。取材の最後として、今回実施した作業状況の撮影となりました。当日は、猛暑の中での作業であり、40分毎に休憩をはさむ状況でした。撮影終了後には、教員自ら作業を体験する機会もあり大変さを実感しました。



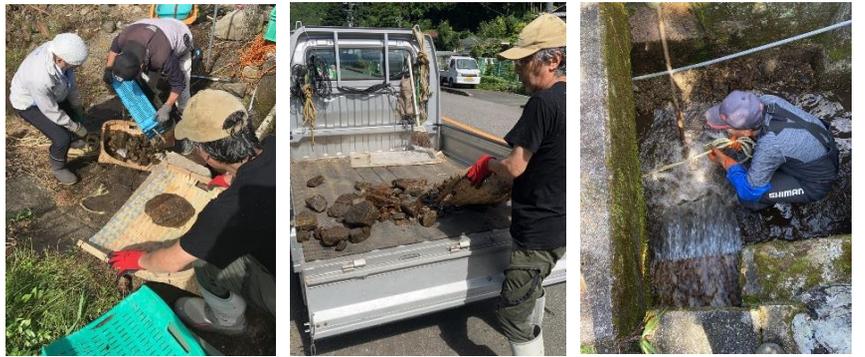
【石原お助け隊】

豪雨による横断溝のがれき撤去（隊長 梅村奉英さん）

○石原の有志が集まり溝の掃除を決行



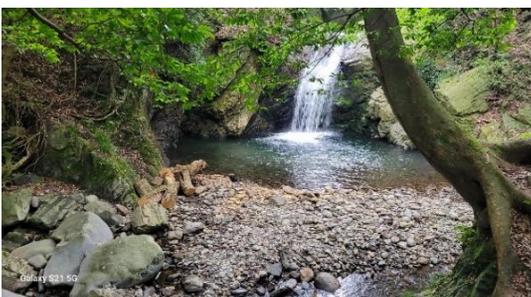
令和6年7月27日（土）、地元の組長さんにお声がけいただき県道を横断する流路溝の掃除をしました。昨年6月の豪雨により堆積したがれきを撤去するものです。今年も大雨が心配される中、水の道を確認する作業を地元住民で行いました。



【石原河川愛護会】

地元の河川を掃除（副委員長 赤松弘一さん）

○くらがり溪谷の手前にある不動の滝



令和6年6月15日、石原町が続けてきた河川愛護活動を実施しました。くらがり溪谷の景勝地「不動の滝」に大木が倒れこんでいました。有志と共に伐採して除去することができました。同時に、何本かの倒木の処理や、枯れた竹の整理伐採を実施しました。県立公園に隣接する河川の景色を、これからも大切にしていきたいと思っています。

【石原お助け隊】

県道沿いの支障木を伐採（隊長 梅村奉英さん）

○張り出した樹木の選定

令和6年8月24日、空き家となった家屋の庭木が大きくなり、県道を通行する大型車の通行に支障が出るようになりました。石原お助け隊が、張り出した枝の選定を実施しました。地域を守ろうとする意識が、住民の民度を高めるものとなると感じました。

